報　　告　　資　　料
令和８年 10 月 16 日

# 横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生 Fes の報告について

教育の質向上と教職の魅力発信を目的に、令和８年９月４日に横浜ランドマークホールで**「ミライの先生 Fes」を開催しました。当日は、教職を目指す学生や高校生、現職教員、大学・企業関係者など約 400 名が参加**しました。

本イベントでは「学生と横浜の先生がつながり、感じる空間」をコンセプトに**教員を孤立させない「チーム担任制」や「横浜型スタートアップモデル」の紹介、学生プロジェクトによるステージ企画**、現職教員との交流、ものづくり体験等、**「教育の今と未来」に触れられる企画を展開しました。**




**参加者アンケートでは満足度 93%となり、多くの参加者から「教員になりたい気持ちが高まった」「現職の先生と直接話せて将来像が明確になった」**などの声が寄せられました。

## 参加者の声（アンケート結果より）

**【高校生】**

**現役の先生や教育関係者の話を聞くことで、教職への思いがより強まりました。**また、教育の魅力や可能性に触れ、同じ志を持つ仲間とも出会うことができ、将来を考える貴重な機会となりました。**次回は友人も誘って参加したいです。**

**【大学生】**

教員は責任が大きく、一人で抱え込んでしまうのではないかと**不安を感じていましたが、**「地上の星」から**チーム担任制による働き方を知り、その心配が軽減されました。**また、**他大学の教員志望の学生との交流を通して、教職へのモチベーションや将来への期待が高まりました。**

**【教職員】**

**学生の感じていることについて聞くことができ、自分のアップデートにつながりました。**私も感動をつくり、感動できる教員でありたいです。

**【企業関係者】**

教育現場と企業が連携できる可能性を感じる機会となりました。**学校や教育の取組への理解が深まり、民間企業として教育に貢献できる場面があると感じました。**子どもたちの未来を支える教育の重要性を再認識し、教育分野への関心がより高まりました。



**【大学関係者】**

**チーム担任制や新任を １ 人にしない体制が素晴らしいと思いました。**教育委員会、大学、学校が連携する好事例として今後の継続を期待しています。

## 1　トークセッション「地上の星」
## ～チーム担任制・初任者を一人にしない“横浜型スタートアップモデル”

**・「チーム担任制」「横浜型スタートアップモデル」の紹介**

豊岡小学校（鶴見区）、港北小学校（港北区）の教員（学級担任、チームマネジャー）がパネリストとして登壇し、**各校にて取り組む「チーム担任制」「横浜型スタートアップモデル」の取組を、自身の経験や映像を基に説明しました。**



**・学生目線から教育現場のリアルを伝える**

両小学校で教育実習等を行った**大学生もパネリストとして参加し、それぞれ学生目線から見た取組への感想や、自身が教員になるにあたっての期待感などを、自身の言葉で来場者に紹介**しました。



**・会場のボルテージを上げるクロストーク**

観覧者もアンケート形式で参加するなど、場内の一体感と本市の教育施策への期待感を醸成しました。

## 2　学生プロジェクトと教員や企業との共創ブース

**・19 名の学生プロジェクトによる主体的なステージ発表**

本市独自の 55 の大学等と連携を基盤として、**19 名の学生プロジェクトメンバーが「学生が創るステージ」の企画・運営を担いました。**学生ならではの視点から教職の魅力や教育の可能性を発信し、会場と一体となって学びや交流を深める機会なりました。



**・教員、企業との対話を通した体験ブース**

**現職教員と気軽に対話ができるコーナーや、凧作りを通した授業づくり体験、３Ｄプリンターを活用したものづくり体験など、多様な体験ブースを設置**しました。参加者からは、現職教員の声を聞くことで学校現場への理解が深まったとの声が寄せられ、教職や教育への関心を高める機会となりました。



## 3　進化する横浜教育イノベーション・アカデミア

本イベントを通して、学生、教職員、大学、企業が立場を越えてつながり、新たな共創の可能性が広がりました。今後は、アカデミアポータルの機能拡充によるコミュニティ形成も活用しながら、こうしたつながりを**継続的な交流や実践へと発展させ、多様な主体が学び合い、挑戦できる環境づくりを推進していきます。**